

10月定例教育委員会 会議録

日 時	令和3年10月13日(水) 午前9時30分～午前10時00分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員
出席事務局職員	饗場教育部長・土屋教育総室長・望月生涯学習室長・樋口総務課長・寺田学校教育課長・内藤学事課長・佐久間歴史文化財課長・臼井スポーツ課長・本田図書館長・宮川総務課課長補佐・橋田総務課課長補佐・吉田総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 末木委員

・9月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

岡田

原

1 開会

數野教育長

これより10月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

末木委員

おはようございます。

すっかり日の暮れるのが早くなり、晩秋となりました。晩秋とは寂しさをそそる言葉ですが、一方で実りの季節ともいえます。秋の夜長を心豊かに過ごしたいものです。

さて、8月をピークに感染拡大が続いた新型コロナウイルスも、ワクチン接種が進んだこともあり、新規感染者数も先月末以降、全国的に減少し、半年ぶりに緊急事態宣言もまん延防止等重点措置も解除され、行動制限も徐々に緩和し、通常の生活が戻りつつあります。

ただ、専門家からは、今後、冬に向けて第6波となる感染拡大が予想されることから、引き続き、これまでと同様な対策をとる必要が強く求められています。教育委員会としても、児童生徒の安全を守るため保護者の協力も得て、引き続き、感染防止対策に取り組んでいただきたいと思います。

さて、今回は昨年来、気になっている「絶望死」という言葉について話をさせていただきます。この言葉を見たのは、新聞に掲載されたニューヨークタイムズのコラムニストのコラムでした。

アメリカでは労働者階級の人が、薬物やアルコール、自殺といった「絶望死」で亡くなる人が増えていて、平均寿命がこの百年で初めて3年連続で短縮したのはそのためだと言うのです。

アメリカンドリームと呼ばれる無限の機会に溢れた国で、なぜ、このようなことが起きるのでしょうか。苦境にいる人たちは、単に「悪い選択」をして「自己責任」を取り損ねただけだと非難されております。しかし筆者は、我々は戦後の包摂的な資本主義から不正なシステムに移行し、労働組合を妨害し、子どもに十分な投資をせずに、取り残された人たちをひどい目に遭わせるようになったからだとしております。そして、よりよい社会とするには、自己責任だけでなく、子どもたちを支援するような人に投資し、集団としての社会的責任を認めるべきだとしております。

アメリカとは文化や制度など社会的背景が異なるので、日本にそのままあてはめて考えることはできませんが、日本でも様々な課題を抱え苦境にある人に対して、自己責任を問う不寛容な議論を見かけることが多々あります。決してアメリカだけのことだとは思いませんでした。

日本の若者は自己肯定感が低く、社会に対する満足度や将来に対する希望を持つ割合も低いと言われています。改めて、一人一人の子どもたちが自分のよさや可能性を認識することができる、そんな学校教育が求められていると思いました。皆さんと一緒に、子どもたちの成長を支援する方法を考えたいと思います。よろしくお願ひいたします。

ご清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

数野教育長

会議録の署名委員は、末木委員にお願いします。

(3) 前回会議録の承認

数野教育長

前回の議事録について、何かご意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

数野教育長

第12号甲府市議会9月定例会の審議状況について及び第13号令和2年度決算審査特別委員会の審議状況について、資料に基づきまして、一括して樋口総務課長から説明をお願いします。

(樋口総務課長から資料に沿って説明)

数野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

市川職務代理者

教員の多忙化解消に関する部分で、特に質問ではありませんが、いろいろな立場の支援スタッフを配置し、教員の仕事をフォローしていただき、感謝しております。そういう中で、教員の仕事というのは、例えば、学校規模、或いは、教員の年齢や経験、それから公文書といった部分で、一人一人の仕事の現状に大きな差が出てきます。その中で、制度上や法制上、難しい面はあるかと思うのですが、配置していただいた支援スタッフを学校の実態に応じて、使い分ける。例えば、この支援スタッフはこの仕事だけというわけではなくて、こういうこともできるみたいな、そういう実態に応じて、柔軟に対応できるよう、工夫していただけると現場としてはありがたいのかなと思いますので、検討いただければと思います。

樋口総務課長

わかりました。

そういった柔軟な対応につきましても、また検討して、学校の中で、実態に応じて支援スタッフを活用するなど、働きやすい環境といえますか、そういった状況を進めていきたいと考えております。

末木委員

7ページのいじめについてですが、全くない学校はないと思いますが、認知件数が毎年、増加傾向の状況です。人数の把握については、アンケートの実施や児童生徒や保護者の申し出、教員が発見する場合等があると思いますが、傾向で構いませんので、一番多い発見の機会を教えてください。

もう1点は、いじめは、なかなか児童生徒が声を上げづらいところもあると思います。学校の中で、声を上げやすいような取り組みをさらに多くやっていただくことはできないでしょうか。また、学校全体でいじめは絶対駄目だという風土というかそういう環境づくりも大事だと思うのですが、いかがでしょうか。

寺田学校教育課長

まず、いじめ認知の発見の機会については、末木委員さんがおっしゃったようにいろいろなルートがあります。一番多い認知の発見の機会は、アンケートによるものになっています。学期に各1回ずつ、どの学校も行うことになっておりまして、それによる認知というのが大体7割から8割くらいです。次に、教員が日頃の見取りからの声かけによる発見、本人や保護者からの連絡によるものが残りの2割から3割を占めているような状況になっています。

相談体制につきましても、普段から教員が声かけ等をする中で、何かあった時にちょっとしたことでもいいので、相談しやすいような人間関係づくりというのを、学校にお願いをしている状況であります。

また、風土づくりにつきましてもは道徳等の授業、学級づくりの中、人権教育の中でも押し進めているところです。

教育委員会では、学校いじめ防止基本方針を定めておりまして、それに基づきまして、各学校もいじめ防止基本方針を定めており、ホームページで公開されております。教育委員会のものも、学校のものも、いじめはいかなる理由があっても許されないこと。その一方でどこの学校でも起

こりうることを大前提にして、相談体制、早期発見、早期の対応等の方針を定めております。それが実効性のあるものになるように学校には定期的に指導しております。

なお、いじめの認知件数の多いことは悪いことではなく、むしろ、感度を良くし、早期発見に努めていることの一つの証明にもなるという考え方の一つが文科省など研究にあります。

原委員

引き続き、このいじめのアンケートについてお尋ねしたいと思います。このアンケートが7割から8割の認知に繋がっているということで大変、重要であることは分かります。しかし、何人の先生がそのアンケートを見られるのでしょうか。例えば、まず担任の先生が見て、問題があるものを校長先生が見るとか、職員会議の全体で見るとか、何かそういった形式といったやり方があるのでしょうか。

寺田学校教育課長

学校によって多少違うと思いますが、まず、アンケートは当然、全児童生徒に行いまして、これは本人の申告によるものですから、それでいじめられているというようなことがあったものについては、担任が把握したのちに、管理職に報告するような形をとっております。

その中で、今後の具体的な対応は、その内容に応じて、学級レベルで対応するのか、学年レベルするのか、学校全体で情報も共有しながら対応するのかということになります。

基本的には管理職がすべて、認知されたものについて報告を受けます。その対応は、それぞれレベルに応じて行います。いわゆる重大事態と言われるものについては、教育委員会に必ず報告を行い、必要に応じて教育委員会の専門的スタッフも入りながら調査・分析を行い解決に導くというような対応内容になっております。

原委員

児童生徒によっては、なかなか声を上げづらいと思います。これは大きなきっかけになりますので、小さなシグナルと言いますか、子どもからの信号をなるべく大勢の方に、受けてとめていただき、重大事態に繋がらないように、いわゆるいじめの初期消火と言いますか、小さなうちに対応していることで、おそらく甲府市の重大事態が起きていない良い結果に繋がっていると思います。引き続き、細やかな対応をよろしく願いいたします。

もう一つ、気になっていることがあるのですが、数日前に、耳を疑うような教員による小学生の女の子へのわいせつ行為により、教員が捕まったという事例が東京でありました。

あのニュースの報道内容によりますと、どうやらその子どもが初めてではなくて、何人かの子どもが被害を受け、最後の子どもの保護者に話した経緯で発覚したということです。

本教育委員会においては、そのような先生方がいるとは決して思いませんし、真面目に丁寧にかやっっていじめ対策をしてくださっている先生方に大変失礼な質問になるかもしれないのですが、数字を少し探してみたところ、先生によるわいせつ行為などの問題行動は、年間に3桁くらいの数字で示されております。加えて、埋もれているものも含めると、かなりの数字になる可能性も否定できないと思います。

いじめ以外にも、直接担任の先生とか学校の先生に何かあったときに、子どもたちが訴える先を設けてほしいと思います。おそらく親にも言いにくいところはあると思いますので、どこかで

その声を拾ってあげるような受け皿というか、窓口といったものも必要なのかなと今回思いましたので、今ここでこうするとかっていうことは難しいと思いますので、今後の検討材料として、万が一、そういうことがあったときには、子どもたちにも指導していただければと思います。

寺田学校教育課長

これは、本当にあってはならないことでして、ただ原委員さんがおっしゃるように、全国的にも教員の懲戒懲罰等の中で、わいせつ行為に類するものが増えているという状況は把握しております。

これは、他山の石にするということで、こういう事例が起きる都度、校長会等の場で事例も紹介しながら、わいせつ行為等も含めて服務規律の徹底は図っているところであります。けれども、今後、被害を受けた或いは心痛めている子どもたちの相談のあり方、窓口のあり方ということになるとと思いますので、そこについては、引き続き、研究等をしていく必要があると考えております。

岡田委員

2点あります。一つは、委員の方々と同じいじめのことですけれども、アンケートで認知がほとんどだという話でした。また、そのアンケートがとても大切ですので、継続していただければと思います。

経験なのですが、我が家の子どもが小学校の時、大勢の子どもさんが通う学校に通わせていただいております。様々な環境の子どもさんがいらっしゃる中で、いじめになりそうだったけどならなかった例を子どもから日々話の中で聞きます。さきほど職務代理者がおっしゃったように、やはり先生の経験とか、そういうものが本当にすごく大きいと感じました。先生がこの発言はこのまま放置しておくとか、1人の子どもだけに何故か皆が普通の言葉でもちょっと強いとか、完全なるいじめでは全然なくても、そういう雰囲気っていうのを先生が早めに察知して、そこをしっかりと問題として児童生徒たちに投げかけて、みんなで解決していくところが、本当にその子どもが心を痛めずに済んだことが多かったのかなと今まで聞いていて思いました。

もちろん、そうでないこともあると思いますし、特に小学校高学年とか中学校とかになってきますと、見えないところということもあるかもしれませんが、やはり、先生方の感度っていうのでしょうか、そこが一番毎日子どもたちに接していて、信頼関係もあるでしょうし、先生たちには、本当にご負担かもしれませんが、先生方のお考えとか、先生方のモラルとかそういうものを今までどおり研修等々で重ねて、取り組んでいただくことが大切かなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

もう一点は、36ページの通学路の安全点検というご質問もあったところですが、通学路のことで、これも質問ではなく、お願いといたしますか、毎年、夏休み中ぐらいに通学路の点検を全部の地域で、特に小学生が登校班でありますし、帰りもやはり班で帰るということで、小学校の周りを重点的に点検していただいております。

私たち保護者側としましても、PTAを通じて、一緒に点検に参加させていただいており、私も今年、参加させていただきました。

今年は、本当に千葉の悲惨な事故があった後でしたので、保護者の考えもこれまで子どもが通っているところはどうなのか、PTAに積極的に参加されていないような保護者の方も、やはり

そこをすごく気にしていただけるようになりました。切ない、辛い、本当に起きてはならない事故でしたが、そういうものを受けて、私たちも他人事ではないという考えで、皆さんで取り組んでいただいております。教育委員会や警察の方も参加してくださって、大変ありがたいなと思っています。

どうしても1年に1回の点検になってしまいますけれども、本当に暑い時期とか、寒い時期とか、また状況も変わってくるので、ちょっとした見過ごしが本当に取り返しのつかない事故になるということで意識をして、普段道路を通る時でも、常にこういうところはどうかという問題意識を持って、対応していきたいなと思っています。今後、引き続き、よろしく願いいたします。

數野教育長

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

いろいろなご意見をいただきましたので、担当で検討させていただきながら今後進めさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

數野教育長

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

數野教育長

それではこれもちまして、10月定例教育委員会を閉会します。